

# ともに、このまちで



町中やコンビニエンスストア、レストラン…。今や日常生活を送る中で外国人住民を見かけることは、珍しいことではなくなりました。多国籍企業も多くなり、学校や幼稚園・保育園などでは海外にルーツをもつ子どもも増えていきます。

こうした変化の中で、出身国にかかわらず安心して暮らすことができる社会の実現が求められています。キーワードは「多文化共生」。今号では誰もが地域の一員としてともに認め合い、互いに力を合わせながら、社会を発展させるための考え方について特集します。

☎市民協働課 94-4714

## 多文化共生ってなんだろう

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として生きていくことです。本市では外国人住民にも暮らしやすいまちづくりを進めるため、多言語での情報提供の充実や市民との交流を促進し、多文化共生社会の形成を図っています。

## 今後も増加傾向が続くと想定されています

わが国に住む外国人の数は今後も増加を続ける見込みです。要因として政府が実施する次の施策が挙げられます。

**在留資格「特定技能1号・2号」**  
特定技能とは、特定産業分野に指定された14分野の特定技能を持つ外国人材に対して、在留資格を与える制度です。平成30(2018)年、政府は在留資格「特定技能1号・2号」を新設し、特定技能による在留資格の付与制度は平成31(2019)年4月に施行されています。

令和元(2019)年末時点で特定技能の在留資格で日本に住む外国人数は1621人います。

**外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策**  
平成30(2018)年、内閣官房長官および

事務大臣を議長とする関係閣僚会議によって、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策が決定されました。概要は以下のとおりです。

- ◆外国人との共生社会の実現に向けた意見聴取・啓発活動など
- ◆生活者としての外国人に対する支援
- ◆外国人材の適正・円滑な受入れの促進に向けた取り組み
- ◆新たな在留管理体制の構築

参考資料 文部科学省「留学生政策をめぐる現状と施策」/法務省「令和元年現在における在留外国人材について【令和元年現在】公表資料」/法務省入国管理局 厚生労働省外国人材開発統括官「新たな外国人技能実習制度について」/経済産業省「在留資格「特定技能」について」/法務省「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(概要)」

## 外国人住民増加、その理由を知る

令和元(2019)年末時点で国内に在留している外国人の数は293万3137人。過去最高を記録しています。

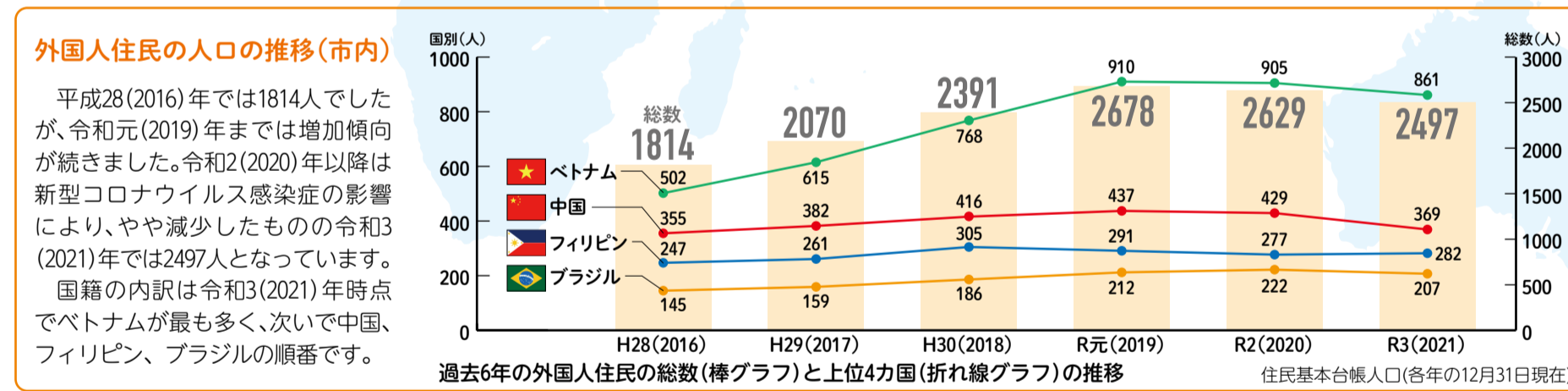
要因としては、少子高齢化による労働力不足の改善や地方における活力の維持などを図るためにとられている国の方針や、世界的なグローバル化の流れが関係しています。

**国内在留の外国人が増えた主な要因**  
代表的なものとして、次の2つが挙げられます。

**日本政府の方針**  
**留学生30万人計画**  
平成24(2012)年に14万人だった外国人留学生数について、令和2(2020)年までに倍増させる計画です。平成29(2017)年末時点で34万5791人に達しており、前倒しの形で実現しています。

**技能実習制度**  
国際貢献を目的に掲げ、開発途上出身の人々を日本企業で一定期間受け入れる制度です。平成5(1993)年に創設されたもので、平成29(2017)年には技能実習の適正な実施や技能実習生の保護を図る法律が施行されています。平成27(2015)年末時点で19万2655人だったものが、令和元(2019)年末時点で41万972人にまで増加しています。

**国際結婚をするカップルも増加中**  
世界的に進行するグローバル化の流れも相まって、徐々に件数が増加しています。「日本人の配偶者など」の在留資格で日本に住む外国人の数は平成27(2015)年末時点で14万349人だったものが、令和元(2019)年末時点で14万5254人にまで増えています。



## 多角的な視点を地域の活力に

市内では、さまざまなシーンでたくさんの外国人が活躍しています。

子ども支援プロジェクトに参加した経験を生かし、多様な背景をもつ子どもたちに寄り添う活動をしているアカンドさんにお話を伺いました。

**自らも子どもたちを支援していく**  
日本生まれですが、小学校1年生から中学校2年生までは両親の母国であるバングラデシュで過ごしまし

た。当初は日本語しか話すことができなかつたため、周りの人との意思疎通に苦労しました。その期間に英語とベンガル(バングラ)語に加え、家族がイスラム教徒だったためアラビア語を学びました。

日本に戻った後、山王中学校を卒業し、県立伊勢原高校に進学。日本の文化を再度理解するため、先生の紹介で、伊勢原北コミュニティセンターで行われている「伊勢原サンシャイン教室」に通うようになりました。海外にルーツをもつ児童・生徒への学習支援や居場所づくりを行っている場所で、勉強だけでなく私生活のこともたくさん相談しました。ささいな話にも親身に答えていただき、不安や悩みを解消できまし

た。そして、私自身も日本語に不慣れな子どもたちとの仲介役として活動するようになりました。

高校卒業後は「国際社会におけるジェンダーと性」をテーマにLGBTQや女性問題などを大学で勉強しています。現在も伊勢原サンシャイン教室に参加しているほか、サークル活動ではブラジル人の子どもたちの学習支援をしています。

**出身国を包み隠さず伝える世の中に**  
多くの子どもたちに接すると気が付くことがあります。発展途上国や宗教のイメージが強い中東諸国にルーツがある子ほど、自分の生い立ちを偽ったり、人前で母国のことを話したりすることを避ける傾向があります。これは悲しいことです。そのため、日本の文化だけでなく海外のことにも興味・関心をもってほしいと伝えるようにしています。お互いの国の良い所を知ることで、そこにルーツがある自分にも自信をもつことができるため、楽しく生活することができるのではと思います。



ブラジルの子どもと過ごすアカンドさん(中央)

## 文化の多様性を知りましょう

異なる部分もありますが、それは日本人同士でも同じこと。出身国の習慣や宗教上のタブーなど、同じ部分や違う部分を知ること、深い信頼関係を築くことができます。

**まずは、食文化を理解することから始めましょう**  
食事のスタイルにはさまざまな特徴があります。国別でいえば、中国や韓国では多くの人たちと宴会のようなディナーをすることが好まれている傾向がある一方、フランス人は家族でじっくりと食事を楽しみ、1時間以上かける場合もあります。

**信じる神仏で変わる食文化**  
信仰している宗教によってさまざまなルールが存在します。次の点に注意しましょう※教義の解釈やその実践方法は国や地域、個人によって異なります

**キリスト教**…肉やアルコールを避ける人もいますが、基本的に禁止事項はありません※コーヒーや紅茶、お茶、アルコール類全般を摂取することを禁止している場合もあります

**仏教**…一部の僧侶と厳格な信者には禁止されている食材(肉やニンニク、ニラなど)があります。

中国や韓国、ベトナム、モンゴルなど、大乘仏教が広まっている地域のようなディナーをすることが好まれている傾向がある一方、フランス人は家族でじっくりと食事を楽しみ、1時間以上かける場合もあります。

**ヒンドゥー教**…不殺生を説いているため、聖獣とされる牛肉を避ける傾向にあります。

また、厳格な教徒は、肉類に触れた調理器具の使用も敬遠することがあります。

**特徴的な生活を送る「ムスリム」の人々**  
7世紀初頭に現在のサウジアラビ

アで発祥したとされるイスラム教はキリスト教、仏教とともに世界三大宗教と言われています。信仰している人々のことをムスリムといい、世界人口の約4分の1を占めています。生活習慣に関するさまざまな教えに基づいて生活しています。

**生活をする上で礼拝は欠かせません**  
毎日礼拝を行うことが義務付けられています。夜明け前から夜にかけての1日5回、サウジアラビアのマッカ州にある聖地メッカのカアバ神殿の方角へ向かって祈ります◇1回の立礼と2回の座礼を1単位として、2回~4回行うのが決まりです

**厳格な教えに基づいた食文化**  
決まりがある食材について代表的なものを紹介します。

**豚肉**…口にすることは避けられるべきとされているため、みりんを含む酒を飲みません◇しょう油やみそなどの調味料に含まれる微量のアルコールですら、口にしない人もいます

**断食月(ラマダーン)には特別な配慮が必要です**  
一年に一度、夜明けから日の入りまで断食・齋戒(心身を清め、禁忌を犯さないようにすること)する期間があり、約30日間続きます◇イスラム暦と西暦が異なるため、断食月の期間は毎年異なります

参考文献 こども世界の宗教(カンゼン)

やエキス、油脂、調味料など豚由来成分にも注意が必要です◇血液や宗教上の処理がほどこされていない肉(牛肉やとり肉など)についても注意が必要です

**アルコール**…口にすることは避けられるべきとされているため、みりんを含む酒を飲みません◇しょう油やみそなどの調味料に含まれる微量のアルコールですら、口にしない人もいます

**断食月(ラマダーン)には特別な配慮が必要です**  
一年に一度、夜明けから日の入りまで断食・齋戒(心身を清め、禁忌を犯さないようにすること)する期間があり、約30日間続きます◇イスラム暦と西暦が異なるため、断食月の期間は毎年異なります

参考文献 こども世界の宗教(カンゼン)

**ブラジルパワーの源は陽気なラテン文化にあり**

千頭 永実さん (58歳・上相屋)

戦前、祖父が農業の研究をしており、日本の農業を伝えるためブラジルに移住しました。私は日系3世にあたり、20年前に来日し、現在は永住者として通訳などをしています。

カーニバルのサンバでイメージされるように、ブラジル人の性格を一言で表すと「陽気」です。誰に対しても気兼ねなく話しかけ、スキンシップを頻繁に行うような明るい性格ですが、時間や規律に対しては日本人と比べてルーズな印象をもたれます。

## 誰もが心地よく暮らしていくために

ともに生きていくためには、日本人の生活スタイルを正しく知ってもらうことも大切です。

お互いの文化を理解し合うことで、日本人も外国人も住みやすい環境が構築されます。

**理解しやすい言葉「やさしい日本語」**  
世界には多くの言語があります。全ての人に対して母国語で情報を伝えることが理想ですが、現実的には困難です。そこで、理解しやすいように簡素化したものが「やさしい日本語」です。

平成7(1995)年1月の阪神・淡路大震災では多くの外国人も被害を受けました。その中には、言語を十分に

理解できず必要な情報を受け取れないケースもありました。そうした人々が災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが始まりで、現在は災害時のみならず平時における情報提供手段としても研究されており、行政情報や生活情報、毎日のニュース発信など、さまざまな分野で取り組みが広がっています。

**やさしい日本語で伝えるポイント**  
次のことを意識して、相手に伝わっているか確認しながら、ゆっくり話しましょう。

- ◆全体的にゆっくり話し、言葉ははっきり発音する
- ◆一文を短く、区切って話す

◆難しい言葉は、簡単な言葉に言い換える

◆外来語(カタカナ語)はできるだけ使わない

◆曖昧な表現はせずに、具体的に伝える

◆方言はできるだけ使わず、標準語で話す

## 伊勢原市が行っている取り組みを一部紹介します

**国際交流委員会との連携事業**  
地域の国際化について、積極的に取り組んでいる団体「伊勢原市国際交流委員会」と協力し、異文化講座や外国人市民へのアンケートを実施したり、昭和56(1981)年に市と姉妹都市連携を結んだアメリカのカリフォルニア州ラミラダ市との交流事業を行ったりしています。

**世界を知り、伊勢原の魅力を伝える国際交流**  
国際交流を支援する市民団体「ワールドキャンパスいせはら」の協働事業として、市内の家庭に他国の青年がホームステイをすることで、多文化共生の意識醸成を図るとともに、本市の魅力発信を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間開催を断念していましたが、「日本で学び、日本人と交流したい」と願う海外の学生の声を受け、例年よりも規模を縮小し、7月19日~25日に実施しました。

**参加したホストファミリーの声を紹介します**  
◆気持ちがあれば、人と人はつながっていきると実感した◆言葉が伝わらなくても楽しい時間を過ごせた◆心温まる経験ができた◆見送る時は涙が止まらなかった◆この出会いを大切にしたい

ノルウェー人やアメリカ人など15人が伊勢原の文化に触れました



平成30(2018)年に行った異文化講座